

ターゲットが明確であれば
必ず壁は越えられる

Bグループ

ターゲット

郡山市立 みちのく 小学校

- ハード面での国の目標をクリアしている
- リーダがいる
- デジタル教科書を持っている

でも、みちのく小学校では……。
活用レベルの差が大きい
しかもその差は目立つ!

ここに壁がある

	使いたくない	使いたい
苦手	①	②
得意	③	④

壁を越えるために

	使いたくない	使いたい
苦手	①	②
得意	③	④

壁を越えるために

Top Down 【促す】	<ul style="list-style-type: none"> • 先進研究、実践事例の伝達 • 活用効果、学力向上などの共有 • 参観授業、公開授業 	<ul style="list-style-type: none"> • 校長から • 講師派遣
Bottom Up 【広める】 【作る】	<ul style="list-style-type: none"> • 授業づくり • 単元開発 • 教材研究 	<ul style="list-style-type: none"> • 学級・学年間 • 教科間 • 校内研究

●アッパー 1

○デジタル教科書活用の効果を、実践例を入れて紹介【広める】

拡大, 線, 挿絵, 音読, 漢字, 吹き出し,
ワークシート
①→②

壁を越えるために

	使いたくない	使いたい
苦手	①	②
得意	③	④

●アッパー 2

○ワークショップで授業づくり研修を行う。

【作る】

学年部会、教科部会、もしくは、校内で。

②→④

壁を越えるために

	使いたくない	使いたい
苦手	① → ②	
得意	③ ↓ ④	

【ICT活用研修】の進め方（例）

1. ICT活用授業を見る

- 手軽で確実に効果がある授業場面
- 「ちょっと難しそう」というイメージを払拭

2. 模擬授業で体験する（ワークショップ）

- 授業づくりワークショップ
- ICT活用ポイントの共有化

3. 授業で活用する

- 効果と手軽さを体感

4. 研究授業で共有化する

- ミニ授業研究会
- 指導案の簡略化
- ICT活用場面の明示
- 授業評価シートの活用



8

●フック

○教育の情報化等の動きを示す研修【促す】

- ICT使ったら学力が上がったことを示す。
- 学力テスト(B問題)を示し、この時間を生み出すためにもICTを使う効果有り。
- [ICT活用指導力の基準](#)

③→④

壁を越えるために

	使いたくない	使いたい
苦手	① → ②	
得意	③ ↓ ④	

●ボディブロー＆クロスカウンター

○校長の一言

- お便り、学校便りで宣言
- 学校経営・運営ビジョン

壁を越えるために

	使いたくない	使いたい
苦手	① → ②	
得意	③ ↓ ④	